

自由回答

女性20歳代

現在の女子大学生の調査では主婦願望が強いという結果が出ているニュースを最近聞きました。女性の意識が変わることも男女共同参画社会の実現において、重要なことだと思います。

今までの人間の性格を変えるのは難しいと思います。親の教育だったり暴力だったり、DVなどはなかなか治らないと思います。今、学校生活を送っている子どもたち、未来を担う子どもたちに教育の場で教えるのが一番の方法かと。メディア、法律で女性を守るしかないと思います。女性の社会進出には教育の提供、家庭での協力を得られない人のためのサービス、保育所の充実など頑張っている人をもっと社会で応援してほしいです。

平等を大事にする取り組みが増えてきているが、必ずしも全ての事柄を平等にすることがいいことではないと思う。家庭であったり、社会であったり、そのときどきによって男女の役割のバランスが大事だと思うので、何事にも対応できる能力を身につけるためにも講座だったり、広報誌での呼びかけは必要になってくるのではないかと。平等というより、お互いを尊重する意識が大事だと思います。

子どもを産むことによって社会からはいろいろ言われる。全然男女平等とは思えない。だから子どもを産みたくても産みたくなくなる。出産手当金も上がった分だけ病院代も上がって行って全く意味がない。保育施設も足りないから産みたくても産めないとも思える。親がいるときには預けるなどあり得ない。それでお金ももらっているくせに保育施設自体態度が大きい。偉そうにしすぎ。役場も土日休みで迷惑。仕事していたら土日しか行けない。

市民が平等に生活できるまちづくりとなるよう、頑張っていたきたいと思います。今の生活に不安などはありませんが、今と変わらない生活を望みます。

男と女の差をなくすだけでなく、女性の中でも子育て中の人とそうでない人で雇用機会の差が生じるようになっていきます。様々な立場や分野で意欲のある人が格差の犠牲にならない社会になることを希望しています。

女性30歳代

最近の若いお父さんたちは、昔に比べると実によく子育てに参加して、協力してくれていると思います。しかし子どもが病気をしたときに休むのはほとんどが女性。病気が長びいたり、1か月にしょっちゅう病気をすると女性も休めない。しかし男性が育児で休むのを認めてくれる職場は少ない。有給とは言いません。無給でもいいのです。男性が休める環境をつくってほしいです。

広報等の啓発ではかたよりのある。見ない人は触れもしない。無駄です。中途半端な活動ではなく、大きなイベント、祭り等でPRしたり、街頭での呼びかけ等、目立った活動も必要だと思う。年に1~2回の期間限定で終わらず、定期的活動を望む。

男と女はもともと違うものだから、何もかも平等である必要はないと思います。テレビなどで女性の権利を訴える人を見ると、同じ女性としても「それは違う」と思うこともあります。男女がどうこう言う前に、個人を尊重できるような社会になればいいと思います。自分のことばかり考えがちですが、目を開いてしっかり世の中を見るべき。

女性30歳代
<p>私が勤務している職場は大半が女性です。なので女性差別を感じたことはあまりないのですが、正社員と非常勤の差別、ベテランと新人の差別、年齢の差別は感じるがあります。実際職場で意地悪をされたり、中傷的な言葉を言われたり、仕事を続けていくことがとても不安です。個人の性格の問題で、どうすることもできないと思います。周りにもパワハラを受けている人がいます。働きやすい人間環境の職場はなかなかないと思います。</p>
<p>男女平等とは何か。それがよくわかりません。本当に女性は外でバリバリ働きたいのか。本当は男性の給料だけでは子育てができないからだとしたら、家庭での家事育児はお金の問題ではなく、命に関わる大事な事です。それをおろそかにしてまで女性が働きたいと思っているのは、生活や子育てに必要なお金が足りないと思うからだと思います。もっと根本的議論をお願いしたい。</p>
<p>大人の意識を変えることは難しいので、小さいときからの教育が大事だと思います。授業参観などを通して、親も勉強できるのではないかと思います。</p>
<p>女性に向けた就労のための講座をもっと多く開いてほしい。小さい子どもがいると預けたりが大変なので、熊本市内で開かれているような託児所付きの講座を希望する。今は母親で子どもに手がかかる時期の人が働くには、社会全体の体制が整っていないように感じる。育児中の女性でも働きやすいシステムの強化を希望する。</p>
<p>私は男の人が働いて、女の人が家庭を守るのが理想です。</p>
<p>我が家では昔から女性が家事の全てを行い、男性は家事に協力的ではありません。子どもの頃から母は働きながら家のことも全てやり、その姿を見てきました。大人になった私はなるべく母の手伝いをやっていますが、父は全くしません。「女性は家事をする」という考えがあるからです。このような考え方の男性、特に年配の方は多いのではないのでしょうか。私は男女関係なく、互いに協力するという考え方を多くの男性にもってほしいし、協力的でない人とは絶対やっていけないと思います。</p>
女性40歳代
<p>無駄。DVは絶対になくならない。</p>
<p>問18、問20のような質問は夫婦であれば多かれ少なかれ経験があると思う。私は若いときのけんかを思い出し、マルをつけましたが、それがセクハラやDVとは思っていません。セクハラの問題も親しい間柄(友達等)では話の中で絶対にはしていると思います。男女共同参画社会と名付けて、学校の運動会では速い者同士で走らせたり、名簿も混合だったり大反対です。あれもこれも駄目という風潮が世の中をおかしくしています。その前に職場での男女同賃金の周知徹底を望みます。会社の中で仕事をしない男が多すぎます。そのくせ首を切られるのは女性ばかり。絶対おかしい。</p>
<p>5年前からゲームコーナーで働いていますが、5年前は小さなお子様連れのファミリーが多く来店されていましたが、最近はお子様とお父様の来店が多く見受けられるようになりました。お子様とお父様がゲームで遊んでいらっしゃる間に、お母様はショッピングをされていたり、お友達と食事に出かけられていらっしゃる、いろいろです。子育てに参加される男性の方が多くなり、嬉しく思います。</p>

女性40歳代
宇城市には働ける場が少ない。自分の希望に合う時間がない。職場の希望時間に合わせると子どもに負担がかかる。
男女平等とはいえ、男女の能力の違い、体力の差は明らかなので、お互いの良いところを引き出しあって、社会や家庭において明るく生活できるように、宇城市も知恵を絞り、声を出し合っていたきたいです。
主人は料理講座に参加したいのですが、夜の部がなく、残念に思っています。男性が料理ができるようになれば女性も息抜きができる時間ができ、心に余裕が出ると思います。買い物も行ってくれるようになるかもしれません。できれば家事に関する教室を夜に開いてくださればと思います。いろいろな年齢の方々と交流があれば、家庭のあり方を考える機会ができるのではと思っています。
調査がなければ男女共同参画の言葉を知っていても、真剣に考える時間がなかったと思います。今後とも、このような調査はいろんなテーマで多めに行ったほうがいいと思います。少しだけ理解できたように思います。
若い世代では男女共同参画の考え方がある程度理解されているが、60代より上の世代はどうしても男性優位の考え方が強い。今さら考え方を改めることは難しいと思うが、この世代をどうにかしないとダメと思う。
受けた教育が異なる世代を上司に持つと、どうしても時代の波に乗れない古い感覚が消えない気がします。若くても良識のある人、男女区別なく優秀な人にリーダーシップをとってほしいです。
男女共同参画と騒ぎすぎ。最近では男性が女性に対して気を遣いすぎ。このアンケートでも女性に気を遣った作りになっているように感じる。このままでは逆セクハラと言われる社会ができそうで恐ろしい。今どきの女性たちは強く、社会に出たい人は社会に出、家にいたい者は家にいる。共同参画を強く言うと社会に出たくない者まで出なければならぬようで、逆にプレッシャーになる。
どれだけ情報を出しても、現60～90歳代の人にはわかってもらえないと思う。
今回のアンケートによって、日ごろあまり考えたことがないことを考えさせられました。良かったと思います。
男女と言うよりも、一人の人間を大切にするような教育が必要になってくると思います。
宇城市は他の市町村に比べ、何に対しても行動が遅すぎます。例えこのようなアンケートをとっても本当に変わっていくものだろうかと思えます。DV、セクハラに対しては本人の意志が一番大事なことを教えていかないと、一生変わらないのではないのでしょうか。子育てにしても介護にしても同じで、相手の立場になってということを考えさせるべきです。
私は育児や介護等、また家事など女性がしてもかまわないと思っています。夫婦の間で感謝の気持ちを持ち合えばいいと思います。
子育てをする上で、女性の負担は大きいと思います。仕事も持つとなると本当に大変です。でも仕事をしないと子どもが大きくなるにつれ、かかる金額も年々多くなるし、また家庭の中だけにいると社会とのつながりが絶たれ、孤立した気にもなります。

女性40歳代
個人個人の個性と人権を尊重し、男らしさ、女らしさとジェンダーを取り違えることなく、自分らしさを家庭でも社会でも十分に発揮できるような社会体制、個人の意識改革が必要だと思います。
男らしく女らしくという固定概念は、なかなか打ち崩せない。研修に何度も参加し、少しは頭が柔らかくなっているはず。私でも「女なのに青が好き」なんて思います。その人らしさを丸ごと受け止めればいいだけ。皆が相手のことを思いやればお互いに気持ちよく暮らしてけるだろうと思います。

女性50歳代
20年くらい前なら、このようなアンケートもありかなと思うけど、未だこんなもやっとしたアンケートは正直イライラします。男女に関係なく、周りに影響されることなく自分を大事にしている方は輝いています。そんな人を温かく見守る社会をつくっていくことだと思います。
若い世代はそれほどでもないと思うが、年代が上がるほど、男女の役割について固定概念が強いと思う。同じように仕事をしていても、家事労働はやはり女性に負担がかかっている現実がある。
職場で人種や差別の問題について学習する機会が年に何回かあり、最初に比べると自分自身の関心度がだんだん高まってきていると思います。差別はされる人よりする側に問題があり、その大きな原因は無知から来るものだとつくづく思います。それとマスコミが誤った報道で無知な私たちの意識やイメージを作り上げられることもあり、怖いと思います。
年配の人たちにはちょっと難しいと思います。若い夫婦の人たちは男の人も積極的にいろいろされている人も多いように思います。今、この時点で子どもをみている親御さんたちが子どもに教えて、学校でもちゃんとした人を頼んでお話をしてもらい、教育してもらいたいです。
男女共同参画はたまに耳にし、ずいぶん前から活動されているようですが、内容、成果がないように思います。進歩がみられません。アンケートをとって何をされるのでしょうか。興味もありません。
私の歳は50代です。家庭の中でも上下関係があります。お互いを感謝しながらこれまでの生活をやって参りました。会社となると女性はどうしても子どもと家庭が負担になり、女性の管理職の方など大変なことだと思います。私の友人などは結婚をあきらめております。現在の現実だと感じます。家庭の温かさも必要だし、女性らしさ、男性らしさも必要だし、国際交流に期待します。
宇城市でも女性の管理職の登用が多くなったと思います。男女共同参画に関しても各自意識が高まってきています。このアンケートの結果で、何をどう変えていこうと考えられておられるのでしょうか。子育て支援の充実を希望します。
一番は家庭生活であると思います。その中で互いを思いやり、いたわり合い、その心を子どもに伝えていく、それが「男女共同参画社会」の元になると考えます。
人として平等であるとはいえ、男性、女性各々に特性があることを考えれば、全てを同じにすることがいいとばかりは言えないように思う。特に育児期においては、女性の本来の特性である母性の最大の発揮期であり、たとえ社会システムにおいて子どもを預かり、面倒を見る場があったとしても、子どもにとっては母親と共に過ごせる時間が少なくなることであり、将来的に大きな問題となって表れてくることになるのではないかと思う。母親になることを選択した女性が、仕事をしなくても生活できる環境、各家庭の工夫等を望む。

女性50歳代
30年くらい前に比べたら、いく分、女性に対する一般的な男性の態度、例えば部落でのお茶くみ、家庭内での家事の協力や意識が変わってきたと思います。私の主人は特に全てにおいて協力的なので差別は感じませんし、私の意志も尊重してくれます。男女とも、力ではなく、話し合いが十分できる場に全てなるようよろしくお願いします。
今まで何となく話していた言葉や行動に、このアンケート記入で反省させられる点がありました。各自が意識を持って、少しでもお互いがいろんなところで楽しい生活ができるよう願っております。
どんなに頑張っても男性にしかできない、女性にしかできないこともあると思うので、お互いに協力し合っていくことが大切だと思います。
何を目的としているのか明確ではない。
現在の経済不況の状態を考えると共働きしないと生活を維持できない。子育ても満足にできないと思います。母親が安心して子育てをしながら働ける環境づくりが早急に求められていると思います。これは行政にとっても喫緊の課題です。
まだまだ男性が上、女性が下という風潮があると思います。特に70代以上の方々と同居しているところはお互いの協力が必要だし、理解が十分ではないと思います。お互いが協力、理解し合うととてもいいと思う。
私は保育士をしていました。昔は女性ばかりだったので、職場でのそういう問題はありませんでした。でも地域の親たちの集まり等では男性中心というのは当たり前でした。我が家では主人が仕事を辞めてコミュニケーションを大切に、協力することを大事にしております。
女性も男性と同じように経済力をつけ、精神的にも自立するように努力すべきだと思います。教育の重要性を考え、技術、資格を身につけ、職業観を早くから教育していくべきだと思います。

女性60歳代
子育ての中の若い母親のエネルギーを市のために使えるよう、子育ての終わった時間に余裕のある人にも、得意な分野で活躍してもらえような子育て支援と研修会を開いてほしい。例えば観光客案内など。せっかくの文化財ですからうまくマスコミにも協力してもらおう。イベントもいろいろ行われているが、主催者との温度差を感じてほしいです。ぜひ庶民レベルでの政治をお願いします。
各役員に定年制を設け、年齢の制限をしないと若い男女が育ちません。
女性の中でも実力の持ち主はたくさんいると思います。いろんな教育を、政治を、家庭を学ぶ場をつくってもらい、自然のすばらしい宇城市の中で、発揮できるよう、女性と男性両方の面で考えていただきたい。私はこの宇城市をもっと外へ売り出してくれるような男女の方々が、この自然のすばらしい市や町を活気づけてほしいと思います。ぜひこれからの宇城市のために努力いただくことを希望いたします。
子どもの減少傾向について、将来の暮らしに希望が持てないことが一番ではないかと思う。結婚したい人、子どもがほしい人、周囲にはたくさんおられます。オープンに相談できるような地域づくりができたらと望みます。

女性60歳代
研修や講演会での呼びかけばかりでなく、実施してほしい。例えば子育て支援。親が働きに出て子どもたちだけの留守番家庭。父子・母子家庭で仕事を持ちながら他に頼る人のいない父母。そういう人たちが気軽に安心して子どもを預けたり、相談したり、遊びに行ける場所。開いた施設や、最近どこそで見られる空き家を活用。経験豊かで時間にも余裕がある高齢者を、他でも行われているように、宇城市内で使えるクーポン券を発行するなどして手伝ってもらおう。
基本は家庭の中での理解から始まると思います。出にくい、時間で縛られやすい。家族には迷惑はかけたくないけど、結局はかけてしまいやすい。内向きになる。要するに社会教育でPR。施策を望みます。
数十年農業に携わっている者ですが、今農家の後継者が非常に減少しています。その中で30歳後半から40歳代の結婚をしていない青年が増えています。これでは将来の農業がとても不安です。もう少し明るい農業にならないのでしょうか。少しでも安定した農業を望みます。
仕事と生活で精一杯頑張っているので、自分のことだけで申し訳ないと思っております。
結婚、子育てをしながらも働きやすい環境、制度づくりがまず必要。能力面においては男女差はないのだから。
パウハラという言葉を初めて知りました。知らない人が多いかと思います。内容を詳細に市民に伝えてはどうでしょうか。
モラハラのことも広報で教えてあげた方がいい。九州は特に男尊女卑が激しい地域なので。男女だけでなく、嫁姑でもDV、モラハラが横行していることも問題だと思う。
幸いなことに差別を受けたこともない。どちらかという強い意見も言える、経済的にも夫に依存しない。自分のことは自分でという生き方をしております。
アンケート等の調査は実施することが目的ではないはず。活用した施策をどう進めるかが重要。宇城市が何をやっているか、活字のみの施策に終わらせないでください。
男女共同参画という企画をやっていかなければならない社会を案じます。私は60代後半。結婚後も努めて60歳で定年。世の中の男女のいざこざにも幸いなことに悩まされることなく、子どもたちも無事巣立っていき、現在は夫と二人残された家を守って生きています。世の中が変化し、わざわざいろいろなセミナー等やって地域を見てゆかねばならない市役所の行政も大変なことだと常々感謝しています。男の位置、母親の位置(体の仕組み、能力)の特性を、お互いに再確認し、お互いに基本的なことを助け合えば、家庭は成り立ち、家、地域、国とつながっていくのでしょうか。今の時代はいつの頃からか子どもたちが少し違った思想観が多くなり、もう修正が少々ではきかなくなっているのでしょうか。世の中がもっと大臣から家庭まで、道徳教育に目覚めれば少しは変わるだろうか。
男女協力して子育てできる社会をつくるのが、一番の男女共同参画になるのではないかと思います。
体制的にはずいぶん整ってきたように感じるが、意識の中はまだまだ旧態依然であることを感じる時がある。

女性70歳代以上
男女共同参画意識調査、その言葉を、その意味を知っている人が宇城市に何人いるのだろうか。ただ、建前だけの役所の机上の仕事でわかるのだろうか。いつもそう思う。もっと弱者の、本当にこの男女共同参画を必要としている人のために仕事をしてほしい。ある一部の人たちのためではなく、助けを求める人々のために。
男女共同参画と言うが、職場での子育て支援、介護等はまだ女性がするものだと一般的に思っておられる人が多いようです。市役所の中で男性の方が育児、介護等で休みを取られる方がおられますでしょうか。
男性の給料が高いのがどうしても納得できない。声に出して言うと職場を辞めないといけないから黙っている人が多いと思う。利益があるのに昇給がゼロもおかしい。
男女平等、男女共同参画等、このように具体的に取り上げられるようになって、すばらしいことと思う。日本の美德とされてきた、夫を支える縁の下の力持ちだけではなく、女性も表に出てパワーを発揮できる。しかし結婚して、いい家庭をつくることを第一の理想としてもらいたい。魅力ある男性に、そしてしっかりした美しい女性に育ってほしい。そんな社会を望む。
男女共同参画そのものの内容とか、活動状況など全くわかりませんでした。
現在でも家庭の収支を男性が持っている家があります。
男女はそれぞれの責任、役割を果たしてから権利と共同意識を。
家族の構成によって意識の変革は異なると思う。私は長男の嫁で両親とも夫には何もさせません。男がそんなことをしては見苦しいという意識が先に立っています。洗濯物1枚たりとも干す手伝いはできません。「例えば男のパン作り教室」が開講されても、家には女が何人もいるのですする必要はないと片付けてしまいます。一事が万事です。
昭和一桁前後の男女には、今の男女共同参画は理解や協力は知識の向上にはならないと思います。
高齢者の私たちには介護制度の普及をよりよくしていただけたら幸いと思っております。本当に勉強になってありがとうございました。

男性20歳代
男女共同参画という考え自体がそもそもいけないと思う。もともと男女は平等であるということを根底に置き、現状を改善すべきだと思う。
男女共同参画を実現すると市民にはどのようなメリットがあるのか、具体的に知らせてほしい。魅力的なメリットがなければ参画しようと思わない。
男女が平等に扱われる環境は昔よりも良くなっていると思います。これからは育児や介護が十分に行える環境づくりを目指して頑張りたいと思いました。
生物学的性差はあっても、社会的性差はあってはならないことだと思います。それからDVを撲滅してほしいです。
このようなアンケートを行っても、少しも改善が見られない。
「男女平等」は平等であって、女性の優位性を保障するものではない。差別と区別は違う。給与の差は男女だからではなく個人の差であり、差を差別のせいにして個人の努力を怠ることに問題がある。

男性30歳代
その必要性を感じなければ、個人、男女、わざわざ前に出てこないと思います。平和であれば生活に不満がなければ出てこないでしょう。不満があっても我慢している人も多いと思います。小さい我慢の声を聞く、発することができる市にしてほしいです。
女性のための男女共同参画のような気がしました。

男性40歳代
男女共同参画は企業と地区の問題であり、行政が立ち入っていいのだろうか。立ち入る時間と労力を費やすくらいなら、行政自身のパワハラを問題視すべきである。このことに気づかない限り、宇城市に明日の希望はない。これは行政全般に言えることである。
男女共同参画に関して、特に考えることもなく生活していました。今後、そのような研修等がありましたら、参加してみたいと思います。いろいろお世話になります。ありがとうございます。
このアンケートに答えるだけで意識が高まるので、今後も協力させていただきます。実行できるところは早速行っていきたくと思います。何かと大変とは思いますが、これからを期待しております。ありがとうございました。
女性の社会進出は大事な事ですし、この少子高齢社会の中、男女を問わず、国力を維持するために日本人が一生懸命働くことは重要なことです。しかし各家庭にはいろんな考え方があり、それを無視して行政が「男女共同参画社会はこうなればいけません」的なことを制度化し、吹聴していくのはいかなものかと思います。実際に夫婦間の話し合いが不十分なままで奥さんが職に就き、家事、育児、近所づきあいなどがめっちゃくちゃになった家庭もあります。市役所職員にはそういう方はいらっしゃいませんか。性別や出自に関係なく、卓越した能力を持ち、努力し続ける人は必ず時代が求めると思っています。
まず女性がやる気を示す事が一番。それと男性が素直に認めること。
第一次産業での男女共同参画の実現は難しいと思います。様々な職業への就労の門戸は広がってきていますが、男にとっても女にとっても魅力がある職業にしていけないと、雇用は広がらないでしょう。家事育児は誰かがしなくてはなりません。一方家計を稼ぐ担い手も必要です。時間外に稼ぐことが仕事への意欲だと評価される社会が、男性を家庭へ帰る時間を少なくし、女性が仕事へ専念できることを拒むことにつながるのではないかと考えます。給与所得者に限っては時間を守ることで、その中で能力を判断すること、自営業者にとっては結果が全てだと思うので、実現は厳しいと思います。男女とも個人のやる気にかかっています。
まだよくわからないところが多いので、意識向上と環境整備が必要ではないか。それと景気が良くならなると心の余裕もないのでは。宇城市の無駄をなくして市民の生活向上を。
まだまだ宇城市には年配の役員さんがとても多く、「女の言うことなんかまともに聞けるか」という方が数多くいらっしゃいます。人の上に立つ、その役を受けてくださる方たちの教育、または男女平等を思っていてくれる方々の登用をお願いいたします。

男性50歳代
人間には男と女しかいません。お互いの長所を理解しつつ、目的達成のために協力していく考えを植え付けるのが大切だと思います。口先だけが男女共同参画、腹の中は男尊女卑といった人がいるのなら、まだまだ切り替え期間が必要だということです。どこから手を付けますか。
少子高齢化社会になって、女性も社会で多いに活躍してもらうような環境づくりは、とても大切なことだと思います。そのためには男性(夫)の家事に対する理解と共に、保育所、幼稚園の無償化や、保育時間の延長など女性も男性と同じように仕事に専念できるような施設が不可欠だと思います。制度の不備と景気停滞による将来への漠然とした不安が、経済的要因とも相まって、夫婦間の関係を悪くしていることもあるのではないのでしょうか。女性も男性と同じ、もしくはそれ以上に能力のある方は多数いらっしゃるでしょうから、それらを生かさないのは社会全体の損失に思われます。
人間は生まれながらにして悪でもなく善でもない。生まれてからの教育及び体験で決まってくる。私は宗教家ではないが、今の社会のバランスは悪い方向へ向かっていると思う。残念なことである。私に何ができるか、問われていることなのか。
施策について税金は大切に使ってほしいと思います。
熊本の女は強いので、今のままでいいのではないか。どちらかと言えば旦那のほうが小さくなっているようです。
男女共同参画社会を実現するためには、特に男性の意識を変えなければならないと思われます。そのためには時間はかかると思いますが、少しずつでもいいので、啓発活動を続けていかなければならないと思います。
社会全体が道徳観、倫理観に欠けてしまっている。児童虐待等のニュースを見るたびに心が痛くなる。自分自身数年間子どもができなかったが、仮に子どもができなかったら養子にしても育てたい気持ちである。子どものしつけの前に子どものような大人をどうにかすべきである。と言ってももう遅い。昔にかえる必要はない。男も女も能力を出し合えばいい社会は築けると思う。自己努力も必要だし、相手を尊重する心も必要だし。自分自身を受け入れる広い心がないと、相手ばかりに押しつけるのではと思う。もっと努力が必要なのだ。
世の中の秩序を保っていくには、個人個人が責任とモラルをもって行動すべきでしょう。地域や職場、学校等においても同じことが言えると思います。どんな人でも相手を敬う精神が心の中にあることが大事、かつ少しずつでも解決につながればと思います。
男女共同参画に関する意義を多くの方へ知らせたほうが良いと思います。まだまだ知らない方がたくさんいると思います。

男性60歳代
私の居住する地区は、古くから住む農業者と、他地区から引っ越した新興住宅が混在していますが、男女共同参画以前の問題として、これらの古くからの在住者(農業者中心)、新しい居住者(主として給与所得者)の共通の話し合いの場をつくる作業の中で、地域社会をつくっていく作業、その延長線上での男女共同参画の推進がある。
男女が平等ということを基本に考えると、せつかくの女性らしさ、男性らしさが見失われてしまうように思える。まず一人ひとりの人権が大事ではなからうか。権利と義務。
若い人が働きやすい市や県になってほしい。少子高齢化社会にあっては早急に考えてほしい。老人問題より先と思う。保育所の充実、病児・病後児保育所の充実。結婚・出産・育児が安心してできる社会(職場)であってほしい。若い人が多く住む市や町になってほしい。安心して子育てができる安全なまちづくり 交通のインフラが整った町でありたい。自分たちの村や町や市は各集落の住民自身で守る自治の気持ちを持つ、住民自身の気持ちをもっと高めていってほしい。妙に他人や行政にのみ頼る気持ちを少し抑えておきたいものである。
第二次世界大戦後、いわゆる戦後から男女平等が言い続けられています。それまで女性は家庭、地域でもそういう状態でしたから、急に何もかも急がず、社会、人生の長い目で少しずつ改善される方向に進む支援、協力をした方が実際の効果があると思います。
まだまだ問題点はいっぱいあり、行政で市民との対話をしてください。
この事業の出発点である、男女の定義付けが曖昧なような気がします。ただ生殖器官が違うだけであとは全て同じと考える人がありますが、男女では明らかに得意とする分野に違いが見られ、それは数十万年にも及ぶ人間としての進化の中で育まれた遺伝子の意志ではないでしょうか。脳にも男女の違いがあることがわかってきました。男女の違いを認め、尊重し、そして補完し合うことによって初めてこの事業が実を結ぶ気がします。
上意下達的に行政からエリート、評論家によって作成された、仰々しく美辞麗句な制度が次々発行されますが、不謹慎なことであることを十分自覚の上、言わせてもらえれば日本人のDNA、日本経済や生活環境、慣習により本当に生活に溶け込んだ制度になるのは、希望も込めて半世紀くらい先になるのではないかと悲観しています。
女性の社会への参画には環境整備が不十分である。中小企業で男性が育児休業を取ったらどうなるか。女性が出産休暇で休むことだけでも頭が痛いのではないか。本アンケートを作成された方はその辺がわかっておられるかどうか。このような環境を整備しないと、男女が同じ立場で、社会、職場で活動することはできないのではないだろうか。
学校教育で基本的人権についての教育の内容を充実させる。
男女共同参画については国法で定められていると思うが、その国法に従って速やかに首長及び行政担当者が進めることが肝要であり、アンケートをとって市民の意向を探るようなことはしないほうがいい。経費の無駄である。経費節減のための今日、役所が市民のために何をしているか、多いに疑問である。
男女は同権であっても同質ではないということの本質的理解がなくしては、男女共同参画社会の実現は不可能。質の違いをどのように考えるかということの大切さ。

男性60歳代

日本の歴史を考えると、簡単には教科書通りに進まないのが現状だと思います。少しずつでも実現できたらいいのではないかと。何事も早急には問題が多すぎて、長い年月をもって取り組む必要がある。

こういう市民意識調査はとてもいいと思う。調査結果について審議会等にはかり、広報にて周知徹底していただきたい。

男性70歳代以上

女性の登用を積極的に行う。施策にあたっては若年層と年配層の価値観の違い、考え方等を十分に考慮して、皆が参画できるようにする。

社会教育で男女差別をなくすような啓発を1年間に数回開催してほしい。地域住民は勉強不足。

男女共同参画社会は家族を構成させる各個人が、お互いに尊重し合い、協力し合うことによって、実質的にきずなの強い家族を作ろうとするもの、また夫婦が対等なパートナーとして互いに尊重し合うことによって、そのきずなを深めることを支援する社会である。

男女は平等であると思いますので、わざわざ男女共同参画することは必要なしと思います。

若い人に浸透しておりますので、一応問題はないかと思えます。私たち後期高齢者は昔ながらの考えが根強く残っており、特に農村部において、この話をすれば一蹴されてしまいます。

女性は育児、介護、家を守ることに、男性が安心して仕事ができるように。

嘱託員または老人会役員の方々は講演、講習に行く機会が多いが、一般の方々の参加機会を望む。